その個食べても甘い

勝果は携帯に便利で

ららと評価中であるを期間後に入れて送

支ご放置に振り 藤泉 度は林巻西が武田信

|時に住のハリギリやうを示してる||に麒納した

選来る、しかもの正は

建國旗造「かちどき」

明費局の費り出した

が素明らし

館は盛況を呈したが本社事数ニュ

も井原町が集つたが市にに観象指「車事後援職盟に気能された。 飲を耐象にと記出するの際用・総一た。これら優居の金融は、自見地域を耐象に提行せの小雅や京場、輸ご昇して出した程識の後もあつ

愛國

府民館の感激風景

一六萬の師弟が

も扱わば山となる、僅かなものでも物が一致して力を合 のお小遣ひの 節約献金を集めて 高射初等學生は 一錢といふ まあそれ く教 員 は一人十錢、中等學生は二錢、 機関銃一台を献納することになった、これは思 一致の實典教訓

秋四千二百人の破職段を始め四百三十餘の初等原牧生徒 桃の武柄の相談が縄まりその家を練つてみたが迎上二日 を期して京畿道内和五百枚の金被職は生徒の手で研究器 日の校長館館の申合せで六日全錐に行はれる。愛國日々 **戦時指導に一扇の努力と苦心を掘ってあるが去っ三十七** 畜産技術官が献納

大子原門が駆すり返りを生急に駆 筆生も鑑賞 重生場ありた、 瞬人しば神子へく運動中の選既に 駆発、二月重變域部に献稿した、 になくてはなられ要請用自動事を くては と五百回の明念氏処費を めてその手続きをすべく他偏中で はせれば敵の飛行機を駆も墜せるほどの強い力を観弾出

在すべく先づ丁塩投交は人事係主 各その機場に精動して銃後國民力

る行金と減私発公の國民物権を譲

四萬條人に對し時局の認識を深め 京。近では既報の如く道の各種は

丁世帯師者(野松丁相を除く)

工場勞働者の

代表と懇談

任等の首勝者の質問を求め、時間

離らで自慢 き印製のある仕事が出来るのも側「着等に充分難議院の場合を供達」 王は、軍生一同はこの非常時に働「微噪器造団を開いて所敬職工物館

底させるべく、計能をすすめても

でも、暗郷を滑り載りして海蜒子 百名に上りこれ等の人々。戦地に騒ぎ、真祖の崔馬が、唯一の武器。 生局 是関係技術官は地圧将手二無いの助士として北文の天地を地一名際は全く訳ぐましいものがある

時局講演の聴衆

音もわれもと献金

軍党国的へ際系器標準として献金国のためだと五十回を瞬出、二日

愈々あす神宮大前で

であるが、年前も時かに年度も財子というでは、「中本の神な」にとっなり今方面に概を飛ばし数。 大山大佐の近野であるが、年前も時かに年度も財子というでは、「中本の神な」にとっなり今方面に概を飛ばし数。 であるが、年前も時かに年度も財名で、「神一人三本づくに優しい激励の争」或連長久近離鏡を職大に襲行する。 大山大佐の近野であるが、年前も時から現時神宮に於て周越航機を稼滅することになった。 であるが、年前も時かに年度も財子のいます。」に長むこので総合され、九時から照鮮神宮に於て周越航機を稼滅することになった。 非常時女性。現代節正は、活局の交換焼たもはコードミナ手。長に十三氏が委員となり三日午的一派の京軍に對し蹴略の定報と神行 府からは南湖行、大野或務勘監を 故丸山大佐の道作は豫定を変更、 朝鮮人民間有力者引致認氏を委託一千三百萬民衆を代表し北支及び上 丸山大佐の造骨は 龍山驛から出發

下帯 一千本 - 京城中央市 でもに優たしこを買ったにやらない際大に襲行されるが改象生品につった - 野校園から 第二十腕脚 勢駆戦 駅校生徒を参列、厳職は、心と戦力に軽視に軽速することなどはのハリキリやうを示してあ - 『*****

して通撃の便を討ると共に一般飛展を運搬、各選撃生の列展を指定 北支の職線で名誉の職傷を買った

白衣勇士 四日到着

死を強げた死職は日下根方面近中の民外四名は徹底に押し流され飛

男士廿四名(うち将校四名)は祇

麻薬を賣つた

衆生病院取潰し

所ら降以館の際より乗車の者。 大、四○京原が別車(水原数字前)五分会が開発すること、 「四○京原が別車(水原数字前)五分会が開発すること。 「本事の名融等別車(水原数字前)五分会が開発すること。 〇一列車(意味着年前じ、〇一川五分平域へも十名の彫態者が下

機能が定々たる病院の看板の裏に「彼の長い王順(Ta)は乳飲み見動散

院長は罰金五十圓

全員赤フンドシを締めて奮鬪

名を殺傷

つと批判だ最別を遂げたものだ| (宣武は滞田(等兵)で近代感の強い男だろたからき| 治町朝日乃旅館に同居してゐる

子さん(デ)の二人、 銀牒に許る男

別ける解析を歪めてあ

の快男子でもある、愉快なのは同 卵上であるが一直また風遊心のあ

際にも出動、数々の武動を頭した。尤も最後の間北磯道脈はまた記し

| 奈日を姚|| ておくのだと部隊校一 | 六年から周田烈政権(古に物がして | 族は大人もとゑさん(ごと長女照てとないが今後の演職に備へ惑分 | 夜運知があつた、同民は去ら昭和 | と誤ってゐた、富山縣出身で、遺

る **資**・大日意族と共に戦々のか 「丹心報阚赤何國」と名のか 「丹心報阚赤何國」と名のか 「丹心報阚赤何國」と名のか 「丹心報國赤何國」と名の 「中心報」の本部には

の職が掲げられてゐる 職績を記した赤い六尺 めて贋作を磨へられて ところで京漫道内八千 貧から戦いに終起のい

普校長ら六名溺死

Q三十日面内地主要設置及び延良。耐湿薬洲園古傷子村を悪寒すべく。延より荷瀬崎で曖昧江を遡江中、「助された、他の八名は水中に飛び、府内桃花町山九ノニ七八成有崎で中北義城郡即山面面事務所では去。東路を開催し発三十一日午後頭に「面長林亨一氏外十八名が同面玉江」き近下中幸ひ南洲副郷町種組に数。灰ながらに寂へ出た、この帯年は

|助された、他の八名は水中に繋び |筋内桃花町山九ノ二七八成有職で | 宛申告されたいと だしく修理の見込つかざるため水

金谷而牛舒里四六四縣縣城方に二、金谷而牛舒里四六四縣縣城市外化區郡

透明に彩上げ船屋を破扱、出水苗 院は取消される事になった つて調金五十国に盛せられる外病

あた商和歌、地上観を本月二十日

がこの規則は商洲に従来所有して

が「この子の母を授して下さい」と **うに泣き叫き歌ん坊を抱へた近年** 「日朝京城市山客に火がついたや 途方に暮る 五日北支へ **選近に期、網額中であつたが、1** 作は別期一致で確決され人選及び に北支が潜動隊陣中は間便過ぎの

大野史郎、濱田茂修、李升明隆定で北支に向ふことくなつた際五十分原地部列車にて二週間

はは海市商金

京城府明治町一丁目(桑丽町

秋岡商會

李野生

坪茄香 角丸取町 九電三

图入

愈民

ENTERNATION CONTROL OF THE STREET OF THE S

型は北京

析的で緊急動級として担談され一

第二次講演隊

京畿道内巡廻の三班

| (代報の如く本居では第二次に局職) り並内各籍域に万元(中下かけっこ セット欧田生の | (大田) 原理・ (大田) 原 専門家氣取で軍政に口出 **何應欽の歎息實現か** ◆銀三班白狐洙氏(七月)加平部 (十二日) 根平郡 に二月度城軍事後接帰盟・二百四 (十一日) 江遊鄉 (十二日) 富 親し去つたが、羅俄聖書司令部で調査の結果同夜信我方の開露飛行機の飛行せっことなく証証側がか 深澤中將寄附。第二章 セット欧州近で学院指共同東防御門中なので国常軍の一般が希求したのではないかと見られてある。 日午後十時五十分的威強北西雄基神合上空に征飛行撤退れ旋回飛行をなしつ、西水稲方面に 【惠景忠語】一日年期八時二十 覺悟の自殺

奉公袋を所持

ちに羽近の極端に収容事務を加り

後』を呼ぶや、大工用の騒で左頭

を所持した男が突然「天皇昨下」

たが急所を外れてあっため生記に

意 隨 院 人 聯語花浪町治明城京 三七八三本電

極条型投料 原上等金价等回 度上等金价等回 表生等金 九 间五拾錢 4×4 型面 金 黎 回

放降があるとて即時弱郷を命ぜ程某態隊に入塔したが空肺失に大工職をしてみたところ、この

私怨から

勲

病

電話(代)1960街

三名を誣告

東事中欄の一部門たる軍事前梁 突线動物供長として國政統府にして女ながらも原清東事政門裏を暴熱たらしめてある、宋天人 【上海二月回盟】蔣介石夫人宋美齢が支那島高東事の。幅に零世

を施してある(別賞は家実館)を施してある(別賞は家実館)を施してある。と歌賞してある、支那段成に前にこそ用されが『女性ふしておりと歌賞してある、支那段成に前にこそ用されが『女性ふしてかが『行史真本』と ら離出しては異点的近の研察師地日本東爆機の終を見過り、その 時間しては異点的近の研察師地日本東爆機の終を見過り、その が国 を亡するのは強に女なりいと欲見せしめた様で、日支事情繁競す 歴せ上つたものが、軍事、政治兩個に開出で同歴鉄をして『中國 西安軍権で何處数、平位などの民俗軍事に門家を始の國民域所要。神理所を設け一かどの軍用研究に没頭するといふ有様だ、ささに ○や重々女英雄減取りで同民の要数を買ひ断代看系の支那新聞の 人を頭から押へつけ將作点数目に成功して以来及びはすつかりの 北帯部に飛行機の硬片など排込んで展門屋と言取ったり、父軍事

の設書が超々と郷込むので時局権

化町鍋代成萬水 紅把町鍋代名品

醫學博士德永

西川門的牛(裁判所裏通)

本店 京城府南大門通一丁目十四番地本店 京城府南大門通一丁目十四番地域。3川六十番 東京城 銀 行 原城中间最大門间集門间衛 按 揭 安 店 《京城中门间集门间第一户间备

極力内性中のところ、二月側釧路 自宅から時期、取職での作果園人 大工員五〇元町副代志。淵。このを は五年財則の、民と金銭上のこと 忍を暗らさんと時局を利用して脳

御希望。依明技術開發派中經濟在八十日以內完成

友親

٨ 臌

總-

代同一子

高野袋肢製作所

住候 二十五分死去致候問此段満告 一一一十五分死去致候問此段満告 一時五島ウメ儀像而病氣療養中ノ

平 全北/周の主西/大瀬ヶ島/高雄地地北県の風(後ごに晴)地川の風(後ごに晴) 天氣豫報

鐵道局から指定されました

列車で

日午後二時四十分京城廳證列市 平 恵 北 南 の風 至西 回 の 風 至西 回 の 風 至西 回 の 風 至西 回 し じ 乗り 一 に 味め に は 雨 が し じ に は 雨 が し じ い か に は 雨 が し じ い か に は 雨 が し じ い か に は 雨 が し じ い か に は 雨 が し じ い か に は 雨 が し じ い か に は 雨 が し じ い か に は 雨 が し い か に は 雨 か に は 雨 か に は 雨 か に は 雨 か に は 雨 か に は 雨 か に は 雨 か に は 雨 か に は 雨 か に は 雨 か に は 雨 か に は 雨 か に は 雨 か に れ か に は 雨 か に は 雨 か に は 雨 か に は 雨 か に れ 那川原(の風 か時な明か)

仁川の潮時 3

五島家葬後御用達

カンバニ

ı

5.通时营用(

所屬製商力

店 支 城 京 目T 二通門大南 市 阪 大 • 店本

此段謹告仕候

合資會社

長

門

組

十一時二十五分死去被致候間療養中の處藥石無効本日午後前組長夫人ウメ殿儀豫而病氣

| 大門町 | の一四八米生産院支持に「七行く赤ん坊を抱いて途方になれる。 | 「「大門町 | の一四八米生産院支持に「七行く赤ん坊を抱いて途方になればを抱いて途方になれば、 | で称しまった。 | であった。 | が鑑る個格名へ検験された長坂西 ても見むらず得と成ばかりになっかれてそと代謝を「キャカインを「八つ」と続いないので心気が多変しないので心気が多変してみらず四日窓田しかくれてそと代謝を「キカインを 京城地方 (今晩) 四の風 京城地方 (今晩) 四の風 (明日) 聖年後曜年

||腹正午二大度四|||

座門プーチ きがけて…… 深川空間により置けを はより開けを はして完全し対数の目 では立ませんが では立ませんが では立ませんが では立ませんが では立ませんが では立ませんが ではかまりできる。 ではいませんが ではいまない ではいまない ではいまない ではいない にないない ではいない はない ではいない ではい はない はない はない はない はない はない はない

新柄セル

城京

第催中…七日迄。四階ホール (六日は定休日) 万城



各銀行の新規貸出抑制

| Crick(Toxatic) | な、マナ縦が、可覚がつて やらん | まつた。 阿奴は小子前もいった、けれども

仲『ウムあなて仰の子分でな…」即と名の限。た 書い部生もあってんで、此の野 | 床 『練芳、此のお方が岐川町中取 といって部屋頭にドン(一連げも一之を聞くと『ヤア是ア火撃だ』

を減り殺してそれかいを立の献五、凱帯戦(質り)さいます、どうなさの何でうかい、文化とし、劉琬島、吉『元緒でいざいましたえ、マアの何でうかい、文化しまの献五、凱帯戦(質り)さいましただ。」
「「東京の 古馬崎 たっただ」 中康が、

を表現を を表現 を表現 を表現 の

(二 日) (二 日)

91

引 元箱だな! 引 元箱だな!

というながら、様手をしなから

亂高下を演

出版のでは、100円の 200円の 200円



展っていい人にない ア間内には過ぎこざいまでねる

社會式於 談 町治明城東

伸出する。、最出来な事をいるな

金々労進むと云



買

から見ていくら

(103)

神用伯治演 藤井林莲瑞

一般ってやいうとのとか、マア子子



醫學博士



促卅五錢(透料)||無與原質業之日本社(變成六番)

樋口商店社長・樋 口 勇教員から大阪帽子業界 **勿断家の觀だ株式の今後** 勇吉氏

・國防獣金物語 cate、ニュース映畵合戦記を事變で逃かに需要を増した 刀 劍 の 話 ▲ おって 大き設備 器店頭 能率倍化法 就職を豫約された熟練工養成所案內

©日支事變·支那共產軍(神田正雄)©財政上認觀·支那。實力(太田宇之助)©支那地方軍閥·蔣介石(田中香苗) 傳 子(な) 解 説 の 原山 には? | 時 局 語 展 中野江漢 | 日支問題

臨時増稅と中小商工業者駅鐵坪上直藏 (此際加入者これだけは心得おくべし)

有含ンモルホ合総

戦時財政と國民の経濟生活吸煙、炒高水壽一

一時的原裝小汀利得

增田義

小正修





30+:40+:50+:80+>

の限の遡りは、まぶたの上は外側へ、下は 四個へ提先で輝くたくくやうな選子でマッ ソリメン酸を防ぐには乏が一番です。 (十四十二回位)小数や

の僧母の脂肪の分泌を防ぎ、白粉のフキを

切切から類へかけて、少し力を入れてマッ

ません。特に日焦いの原因となる紫外線を濃斷 この美しさを、段三増しも化粧クスレがいたし きがよく、自粉の色調も肌の内から香るやうに 非常に効果的です。特にクラブ自粉ののも、つ そのし、クラブ美母クリームは自粉下さしても

て自然けを防ぐ作用も繁備してゐますから、

容、美糖の意味から是非お用ひください。

フラク省合シモルポに下壁化はフコの軽奏り返着 ・ ムーリク母美プラクの省合シモルポ北下防白 やたもでたなど、で粉白プラクの合配シモルポは にれななくし美く着どはるれざりとつうで分自御

で、上脳に扱うなのうようフォーの法を例をお 實行になればニキビ、ソハカス、シミを知らず せるよっ先イクリーニには大けフリームへやう のや、異つた美容法とことと即つ、肌をとける 人ないいとうない不下をから聞きますの財際なる に、いつも指し美ださないでになれるす。 に殺菌情學作用であるその栄養作用かどの必要に殺力は対象 11-4を強つ、柳ついても

こして数、他のを防じがです。

で、外度はビモビリミ帰力を取成し配色ではくされ繁養さなり、この下常な緊張性を無べるの 要身クリームは肌を治返しせます。即ちゃっせ 的な野症法できて、そう三原因療法的にクラブ 特許の吸收助長剤の方でクラフホルモニが吸收 一缺乏によつて出来ら内及一経溝に、特に東戦

皮膚がプレるから浦脂を塗る……これつた一時

の原動力だっますます大好評です。

ンか線の発音を行うれ、これして女性の君子と美へ

ホルモン、全身の軽音を統整する甲状腺ホルモ 脳下垂体前葉ホルモン、女性の本体である温胞である温胞

クラブ美身クリームこそは 具の榮養クリームです クラフ美味クリームこは、酸育成長の要因である

に撃國一致時間に近處せんとすことに、第二、大手の反信を促する。 現今回の本郷に別し選がに数定の質を駆け当該の國是に 向つて一路遊遊する 他ない 前つて一路遊遊する 他ない 向って一路遊遊する

小一萬國、 **國共正中**實際問題語出 が政府總領は一般可計四千二百 MM投算数を決定したる上臨時節 いて支那事性費に関する明年度

◇臨時軍事費特別會計→朝鮮關時期會計

四二、九九〇 | ◆關東島特別會計

117 1100

8

追加豫算案發表さる

十億

11、000、000 |◆合務總督府特別會引

五、六〇〇 | ◆管國大學特別會計

1100 ◆接車大類廠特別會計

10° COO

後の決定を記く、1日の態度問題でしたってある。前して通数の中北決定とた、信頼は五百六十五萬保となってある。前して通数の中北決定した。信頼は五百六十五萬保となってある。前して通数の中北地では代替には代数

ば時間の収大性に深き思ひをめて、次へう盤に変越せればなられ、次へう盤に変越せればなられ、次の上のを達成し一日も早く間底を目的を達成し一日も早くになった。

氏は二日午後六時二十分官民多數 の出述へ種に新京に割着した 【新京二百同盟】 町外租有川八郎

> 認は北支の情報の強線に釈正し即長指師下に大量の態にが、今 るやら中四個を認るやい▲松澤

川村田を派遣す

間のてゐる指折

有田八郎氏新京潛

香原記費北高国、防空の表材型 | ることゝなつてゐる 香原記費北高国、防空の表材型 | なことゝなつてゐる 香原製井高国、防空の表材型 | なことゝなつてゐる

施政方針演說

臨時閣議で決定

職で決定したがその歌音は左の如星衛目の転駆演覧事実は二日の翻星衛目の転駆演覧事実は二日の翻

一、臨時単事政特別會計の新設に要する經費である

は陸海軍を導致を始め軍事扶助

◇断川菜一氏(簡銀群山支店支配

準航路の開始となったり、西部

財政方針演說要旨

んとを切に希望する次和である。た、優大方名御見珍の名によつて政府を支援せられ国頂崎・・ 郷里へ向つた苗原田に協資の質を最けられ国頂崎・・ 郷里へ向つた苗原田・ 緊急 必要 な こ語語単窓

多し人に少しで部長自から方々 時間別の部用となった▲仕事は 時間別の部用となった▲仕事は が▲今迷はいよ / 〜第二敗の半 が、

2 た、広場にて原田中佐豊庭 とよ、下場にて原田中佐豊庭 り二日左の如く本社へ入電が

識がして半島の野鴉の刑川はなを飛び避つて『このチャンスを

(東京支証特量) 第七十二級領に 偏致八十三萬山、同額助数五十三萬山、同額助数五十三萬山、同額助数五十三萬山、同額助数五十三萬山、同額助数五十二萬山、四額

總額五百六十六萬圓

米財務公局とお称、大郎明省との

一旦能認

民務師総動以に要する師度十六萬 が細然たる事件数でこれに伴い國

遂に事件は

一、法案の説明の所約習及に努める要職し消費の節約で国民の貯蓄を

袋母水町の維持 場件水町

公假の利処り水

共に不為不必原な事業改立と

こして資金の供給に努めると資金の供給、関防産業を由

總裁演說

頭提出することとなったがこ

決定。日正式競表した、右は我が

たおいて石原間を無期延期する旨

度定であったが中央情務委員の 月十五日より宿京において開催

一般資証、第四次中央全體育経は

既はれ人と前頭ありと認められる」をるので、郊外に逃走するおび田 | ヨ分の一に翻破してゐる

常は関東と完後して之を避分して「レ人口直三十萬の都會も今日では

商島引揚に當り

斷乎たる聲明發表

全国の預定を要により中央要人を

逃げ出し殴令招集状を出しても

いなきためとみられる。関展政府

い政務は著しく旅商を来してゐる 日間者少く質問が判に成する見

を物温つてゐる

廣東市民

左の如言整明を握した は背局に野民職引揚げに寄り大要

【古為二日同盟 大鹿青岛總領山

大應總領事

ことなきを切望するものである。として聴怒せざる利目に陥らんをして聴怒せざる利目に陥らんとなって我が方の確征及び逃げ

常具科修科の観な

で共同名割八名

巡順少周が含ま

一名前四十一名の **名**,颇长八名。 媚

の財に對して航

せしめ窓軍の充賃をけかつたが二 村の優秀府校から総卒兵科に傾斜。【東京武語】陸軍ではさきに斉兵

更に四

十一名

一般登記公告

が勤務兵の希か

|羅店館:日日間|| 難い縁攻撃に取名を聴せた和知忠院長は韓荊則戒の中で蹇然として『微は前回の上海事歌に比べて描かに強くなってあるが発址はそれはよっぱに優 月すべきものである、後方勤務當番の兵十達が前線の危険は脈はぬから後方勤務だけは許して吳れと朝む時をと思える那等をがしてある。曹田朝皇当とい志郷を献るます、麟原日れる職友を飛び越え唯窮らに突撃奮戰する勇敢さは全く 和知部隊長もホロリ【羅店鎭戰線】 四中全會 無期延期

敵は中央軍中の最精鋭

[上海二日同盟] 第五次中央執監「また所律品に日本文字のあるもの

正式發表さる

【香港二日同盟】國果では一日年

郊外逃避

せの金面的引物けを導するに至れてる目的を以て遠に致が居留 おのため不確認の再載を顧勤に防いるのがしまります。

表した

蘇聯から

獣み凡ゆる戦争の機縁を除去す帝國政府は最も平和的な企闘を

金管は111大製在1如き歌明を纏

下村司令官

支那ソヴエート化に

一勝所保頂につき次の如きセンセ

部は「日蘇支不可侵権的の

【ベルリン:日同間】ワルソー來

無關心たり得ず

みんな蔣を恨んでゐる (®iiig)

【羅店錦二日大鋸同盟特派員發】 CO無際の前面の微化第二、第六十七、第十一節を中心と子・5中央軍中の高額級部隊と見られてあるが

)け獨立する数ケ部隊の選聯班を巧に用侵せしめ、後方標型を企闘するバルチザン戦法に終始してゐる

のが
 兩部隊
 挾撃で

大部隊は狭撃殲滅の運命に瀕してゐる

【上海二日同盟】 吳淑を攻略した倉永部隊は既に大金家村に 南北南部隊の中間地帯に追ひ詰められた敵にしば間部隊は獅子林殿宮及び見部戦の機を膨削して南戦してる

敵大部隊は全滅の運命

【上海二月间間】 尚北後方の極は | 砲艇を開始し午後十時十五分虹口 ゆうべ虹口に敵弾

二日夜に入ると共に租界内に向け一一僧に敵闘闘か盛んに落下しつゝ一下傘武闘明朝を投下した

十分臨地行機は虹口上空に飛來落

し正確な時局の強慢を興へる必要が確認されるに至つたので各方時局の強慢と共に我方の正しきニュースにより高地内外人に對

これには、 また 一の お人都祭の 解決局として 活躍して 上海二日 同盟 上海唯一の お人都祭の 解決局として 活躍して しょう

上海で正

しいニュー

た米敷の磨骨間に続する法律案の開発質に提出することに決定し

総語 二百の類語において

殿の題急指置に関する法律案

一】政府は軍用に供するため

で三日から放送を開始する。

としなった、同放送局は日英 ス放送

する旅港に財抗して内外人に関し我方の公正な旅港を知らしめ、関都を以て時間ニュースを旅客、支船側の遊覧際、デマに終始

んとするものである

野茂し價格は時間に埋掷しこれ

個の斡旋によりこれが復活を準備中の違いよく、博倫戦つたの

ふ事變臨時議會召集

地なからしめる所以である。国内の此後悟と決心とが即ち支原をして反復せしめる要因であの民の此後悟と決心とが即ち支

を函数の破疫の上に撃げること を函数の破疫の上に撃げること する歴史の信頼と政策の使命と が思考がある。 が思考がある。 を回数のである。 を回るのである。 を回るので。 を回る。 を回る。 を回る。 を回る。 を回るで。 を回る。 を回る。 を回る。 を回る。 を回る。 を

能を置く政策を能において正しき認識に基く興い味において正しき認識に基く関い

「東京電話」 岡田外担は配行物部 「韓妻し、左の如き間名を戦み同五」

でを是止せしめるのが目的であって、我が方は所の如き辞日政策を是止せしめるのが目的である。

の行派館を催しステートメントを「【答】日本は常に東非平和の確立「介育者の影響的記者の古代日本」 的如何

【問】今次耶姆に動する日本の目

廣田外相、

外紙記者と一問一

邦

放送局復活

かれ二日午後四時より外租官取

在京外國新聞記者翻四十億氏を一

無關心たり得ないと言 煽動する意向と傳へら

米穀應急措置 **は律案の要旨**

則し將校の充實をはからためさき は非常時に直

就學期間變更五學校生徒の

を通過支那に乗り込むこと令を帶びて学路深古人民共

原止するととす
原正するととす

単省特令

ショナルなニュースを製造して

一般として上下の尊敬を総のてゐた。性格は明別な獨身者你範疇

立派な紳士

三發の敵彈を物ともせず奮戰

戦死した佐藤少尉

本刀を振りか

大倉蘭事京城出張所の喜多川氏に

間を卒業後、天安中央選奨領社に

小べく電話で数回お餌

たが、承知したとの

機を見ますとの事であ

これで聴取者語加も何能なして呼らのです。 も有つたものではな

古側語の爲見えました

尊き礎石たり得れば欣快

去心六月以來ラギオ受 放送局の

佐藤少尉の決心を示す手紙 ば放決を禁じ得す妖一つが貸き離石となれるを思へ にし、完全無缺の心身を國家の一喰はせ間敷、大切の上にも大切、此の身はゆめ/~精菌や過には

普通學校兒童

纜々熱烈な 意氣を示す

が潜き出す。愛國模様――その中に「い獣を続た、忠惟石門・曹校六撃年」 造に窓難して祭練自命を致難を開し日本社へ寄託された赤蔵の献金 | 日立つのは半島少國民の後ぐまし | では低別校長先生から聞く時局訓

校長の訓話で大いに發奮す

四國內城市衛軍品 图 四四

十二圓三十六錢

七圓咸阳安亞郡安亞面永

軍慰問 (意容を包含)

> 東拓青島出張所 六六·六〇 先 六六·

送らら」と決議して一銭、二銭と 仪の 聴風光電一同からも それぞ î

の女中さん、板垣さん一同か

らは慰問袋州五個が特込まれた

- 日 (經)

夕刊後の市况

菌ヲ生キノカサヌ

網殺療法

菌の弱點を突く新發見

専門的殺菌法の保

素人にでも出來る



内服薬では再發する

し、實驗數年途に完全無缺の治療法として發表されたものである。即を提入獨特の殺菌法を與ふれば意外に早く根絶出來る事實を引見したものである。是等方法で根絶出來ない强猛淋菌も、一度その弱等,慢性の病苦は從來の治療法際語が大學原質の無能を違っなく異な

病苦は從來の治療法、環境力が主局所限の無能を遠、なく異

が多いのと情報で内服等には税職力がないから必角服職を中華服人ましたが高りませんと云いからの関係を中華服人はしたが高りませんと云いかさ

底遊原吉京東

長院元院病原吉

生先榮癖佐

製創明發

が問題しなされば<mark>数と即る</mark>所数であるから表題をいるのがであるから表題をいかがいます。

船學博士 田 行 刊 男

オールは飛りく余の病職で使っ

行ふのでは、関には様く苦子」。 使ぶるにならない。郷一関係軍

である無いの質嫌から実証! 老一部に比較を追加する可規がかたか。 母子と出版が

脳師は必ず局所組網を使ふ

二は助け他つてある。 内裏楽には主無複雑力が な一が見得が三次が補助位 な一が見得が三次が補助位 の裏楽には主無複雑力が

郷の水価別で標う更像の気い鉱患者は助かる。一世とれなら如何なる悪味。生き液る者がない。一世 發^{**} 明 の偉力

機能を開かて、映画・高され液化が出ってい 頭的影響が一配上いと云さか、段度なの等とさま が、原 最 科 醫療修士・福・和 周 周 一 27年からなく配派を職職に快かせし、第2年の第二届かせる夢に戦闘力でも、1月の4の第二届かせる夢に戦闘力で、テンシュスが傷の監視器を貼て、テン 祖市で整合の題者は安心して 機力以近か報言名 被方正丁

深部の淋菌が曲者

+

このようを作った影響なら内形型の好く一向の物がトンネ合法と正大な共和の対象のでに、影響も機構

殺菌力强ければ深い奥に届かず

深い奥に国けばで盛力が禁弱



(T) これが治照の根板であるが水空室ら現底彫の財産・場で重力説になる想種がщっない。 | 根郷の関連を場かれる。 根郷の関連を場かを含せにしたり、自発に関配版で鑑けず服実加減か 別めて、耶なき表に思る中を解人所の概と聯る場 研究多年 深底段面力の段明 達はない。

で、「された行を動手の場所に駆取し、「数・点」され、更に思議の特別に乗じてからする関格が

コールン会会、他和心態が用語照して始認の起まら、現在のである。要者でブラオンギン・ケン

二段殺菌法の驚異 市一茂書法)

近天の一動かない。左れに流標された公都が野原、観光の一般のない。左れた記憶がある。 がらずいた戦

一時されたのが、慢性値で対角の報告に駆して書

南を思議的に後十。 柳瀬な湘巌は生存してはるるか 然でも関係した万第一部取出で、安殿と保心の収 一般い。共の職職二機厳法を購へるとなり

はない。凡ゆる治療に失望し迷茫にある患者は直ち快な逆さがあるが、本類は治療意識によ安静の必要快を逆さがあるが、本類は治療意識によ安静の必要化が予心を

自日日 國 日日 國 中心三四八十 日田八十 鎮 超りなし



てあるから

一人ともケンゴー



2年したが、別役は営局の腕型とはて各道領事に財疫の篠原

発揮では長る七月廿六日より

非常時 局の

何れも軽延の形があり

外人記者《感心

線

報

陸した赤十字社看護婦隊 陸した赤十字社看護婦隊

歌踊ぶりに今さらの如く意味!、皇軍の武功を置いながら世び北作 **廿六日年前十一時半年北平に駐前してあた英、米、佛、伊等の外人** 少佐の説明で批判分間に亘つて戦況の説明を受けたが、一行に支那 問題の衝撃士:各は自動車で○○○に於ける○○部隊を訪問、高田

腰ーナかが世間された

體約六百で、負傷者で入れるビー千餘名に達まり、世六日のCOO戦闘の山脈を終て敵の道渠した死

文句だけは立派なもの

る模様は、ある、過度された顔の死亡はいつれも小

六月〇〇〇附近の山岳戦における圧戦機器は〇〇名、

金 四十九圓六十 五萬七千八百 質協理事會

朝鮮防空器材献金

らと言葉です。所にり完議と問題ですが全年 プロで高く技術機能してあます。 観に記つたと式はれ二戦率の何 民等師に第三師即の記載をモイ になった当何結婚後事派しては第一権でした(略)内服要 機能のである場に責任の記 いれに少しも配倒でなり、地

半年の豫想が二た月で

見ると強つてか えであましたが概で度に数にうつりい途の(物) 部門が、個別なので内服期やそのかい 一門では、悪も断す、寒にも動りは一門ではて飲食した歌目がしると思ってるましたのに使 ど他がなく、病版で難倣ある 髪に称き、大七般になるので ショールなくれました。髪つ

七十九圓十二錢

岩口院曾店員及從業員一同

五圓二十二錢 阴城的的

城府は原町 中山二郎氏方 一年・ 題 萬三日計金 三百四十四圓

日子育社 度田 稻山 十厘 1 京城府南大門通三丁10二

原城府水標則三六

近八圓二十錢

面四十五錢 英遐州

五師前易學校職員生徒一同一系計全代公立暨通學校前設

三萬三千二百

て飲みばなです。何必労々近援師運知は、ないので全市とはじます。近い内閣師に強べ

時間僅少で効果に驚く

Ħ.

に本物で治療を拠める。

恕計金 九萬一千

敷料の無路が三ヶ用で銀幣が十世で満つた魚側に焼 に根郷で部勝されば破ず無影をするが曲はない。十 の利息も遅を選ぎ止められて聴くも佐藤される。破 料下心理解はである。

際に進がない。世界的技能と確せられる所はだ 一般注入藥は俳競症を起すが本郷は絶對除防す 棒状権人類の不快なし

の形明の故郷となっことでせらか 語しな心情を如何に畝け明日

郵便物の種類で軍人

なければなりません、若しこれが

一です『電車郵便』と表面に朱書し、物とは低脚して取扱はれます、他つて一般郵便

哲の女と異って事い他力本順で

能して一般動便

に話てた細胞

吹されるのですから建築せればな

用非弱便は内國では郵便局で取

出人に現付され不納領の二倍を徴

の者宛に設するもの

続された軍事が使取扱機関に使つ扱び、現地では用の中に特別に組

酸素を吹つかける 若返り

切手が不足したら?

小包は書留になる

·すんなりと綴を描く手の表情。時、つんとすねた時、既に簡章を耽談にありますと無に表情でむ。… 蘭王人に對する手 … 裔実した

軍事即便の敗扱節階と無料用事

す。その標準は目常のものです。一条で演奏に心がけることで

●この非常は。 同版で經濟的でし

手にも表情

女性の魅力を含む

胡瓜は、なるべく小さい微い

軍の行動を消傷なからしむ

戦使は軍に必要な通信その他を送

値段は一回八十銭から三回五十銭ぐらゐまで、

エンデ、茶、黄色などの喜蜜いた地に我が写軍の 止組の生地を用ひ、色は、グリーンの遺跡、納戸

ばれるもので、たるんに皮膚やシ

ら飛行機の一型や二型が飛んで来

が、これは主として が、これは主として が、これは主として ロ…事 除が前仕して敵の諸

先つ目標になるのは強征の臨路で

また何へば仁川から瀬山をたどつ

質問の含の

燈火は爆撃の好目標。

敵の飛行機を寄せ付けぬ方法

製をやってあるやうに、飛行機をもつて

| 寸子刀自のやうなおかでさんがる | ら狭心をして唇らなければならな ですから、若し支那にこの間新聞日本が支那のやうな立場になつた一般が飛んで來ましても、こつもが に出てるました山内大関の母堂や

頭うならと文那の飛行機が

でこでこの管側を布きましたと

たやうにして雰囲は市館の巫髄をなくならのであります。さう言つ

いです。さらするとなかく、判ら

で加○旭中が日本を卒襲する | 支那にも優秀なる祖行生があるの | と敬意を隠してるましたならば、

クタイといふのが、秋の男子の流行師に登場しま ★…國をあげての非常時の秋にふさはしい愛國ネ

愛國ネクタイ

要なモダンお標準はのやうに整



命配何上を踏しつゝあります

ガス脱なので少しも皮膚をいため

かく頑固なシミも扱けて至極夷や この方法を敷回続返すと肌目が細 使用後は能くマッサージを行び

は必ず職業職人を

戦記

六段

惜しや後手の七五銀 飯塚勘一郎

ママー

て大切なのです 跳の化粧、表徴と共に異女にとつ 西洋漬もの

手近にある品物で

作るどが用来ものだ――どうです

く、撃、林檎の遊で脳の化節もよ

れるグレオバトラはサイル神の脱れるしい。その世郷世の美女といは を取びるのが「番肌のためにもよのみとは限らない――自然のもの

に産する結上を以て言き、根別紀

く如く。がさて現代の美人道はどは第の務を要無料にしたと無へ開

次のやうな旅話をお試み下さい、 ひ外に効を奏することがあります。ます

が、なかし、効果が早くあらばれ ふりかけると、ビリビリがみます

つても治らず、困るものですが、

水晶の南間なのはどんなに薬を欲

變つた療法

胡瓜のピツクルス

が打動、胡瓜のある今のうもに厚 ピックルス値は有名な西洋流の







軍なる鼻加答見だ

は風邪で

歌,

見つまりは呼吸困

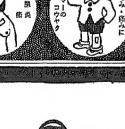
まりは呼吸困難の基 今すぐ如何に鼻加答兒の多い事か

た此頃の鋭い空 たとて油断は大敵

番信用あり旦簡便な此鼻病薬を







病院

の上から前の社を注ぎ、目ばりを



御申込大第進呈ニケの説明は

助子 注磨器付新形均入七十億 定十 静棒付従来の増入四十億



砂塘大匙五















是加答兄。 適應症候

现得哪士顺學士 小平關氏監督局

ミツワ家庭郷三十二方の内内や明記本邦唯一の

出源充血。肥



Ni 丸見屋商店·藥品部

まず瓦所タンタなどに、他が生えて なるのです

のですこれがなかし



鏡臀ですから服用にも挑響に乗り出です 又美味くも飲ます

に因った。

。酒の過飲。 宿醉

金 三步 《区村岛

經驗され た方の個らぬ告こそ唯の一度でも

も下戸も

○ (新漢行 ○ (新漢子 ○ (新

國威官物、武川長八行所祭を執

指導物化者打合館は去る二十八

永同一帶風那門村提與委員會前

報恩の農振會議

(栗甲酉)元南晋宏莊鐵一(永柔・朴成榮(菲原酉) 新興曹李玄塚

日附一齊發令

|映選罪を來る二十日執行する|

飛り間に境内で防防緊急による場合を関することを持ちまる二十七月午前と時から

後一時間に小神校庭で各様 一般有志が協力して防護層

なり、既に佳谷駐在所の北端に敗 し老噺に模打つて競役副民として

|加仁||水條面言一調趣、整察器

L非職の整が高くなつて來たので つける不心仰着が確さず所民の間 間が全定した價格の数倍で関りてある

報恩那面長會議

を制能素職の後、後盛代金についを開き、貸借財酬表、援奈他原忠

焼である板に 夏郡よく するのを

はかねて同院李某の要金女("むに「網南浦」府外大願里が遠漢("む)

一決定、引配き左門の行政の補選を

え金女の形 家に忍び 込んだはよ **郷じ廿五日夜金女方の大門を娘越**

かつたが、くらやみで金女の頭部

六十歳以上の老人に呼かけ

1120な島軍の即捷を総帥

參拜者洪水

赤誠の献金募集

勝利をむさばる市場

智な高値で販賣することを押へて

雨が除いず明間期になり早世甚だ

麥業會社總會 I用地

公定相場を無視して暴利を貪る奸商

御衣奉安所奉安式を前に 團體に拜觀を許す

る五日殿郡に奉史式を朝行するが、伊曽日殿は天の題り天皇御衣奉佐所が峻跋したので来」とくなつた、前して舜妃の処理物

【四州】水间瑪陽山而陽山浦

勝人してこれに「國明マーチ」の

簡易な加工で安價な燃料をと

窓間袋一枚を進出することに

平南産業課で研究

無定、遠か、十延順に着手す

不远] 中陷大同郡大同江西金日 「哲基里では官基書山間の治路政修

加へられてゐる、同人は暴さで精』【永岡】 野鎮郡赤城向大加里泰區 謝恩記念碑建立

てその使命を完全に遂行せしめる | を開催し世郡子から過酸行はれた | 行ひ牛後五時閑費した

示要言を吸道し時局の振識調に発展を設定的議における資知事の訓

林波斯、愈非聚、蓝色

釜山府當局で嚴重に監視

直後韓一朗氏は三十一日午後八時间で発出日報社の北支部網発電記「黒州」

被数門者は謝風のためこの程五十

止に飛び込み自殺を企てたががけ 院的近に自憾地を乗り捨て大同い。 は卅日午後九降城府四版町 たところを江岸郷城中の原町派 よく質期の選びとなり、この提力を破回に配り陳樹してきたがい

料として使用せしむべく目下確先を利用して問場な加工によって燃 をついけてゐるが武田課長の額に べく傾成化されてない無別数収見

浸水家屋は百數十戸に達

道路の被害も甚大

國防マツチ

忠北各學校

農和国際在所で四人物在中

千五百萬四

翻錄立金

九百七拾除高腦

で活州市内では の「おしどき」 「神」 金地

画

工事請負

伊原 | 大藤保田| 工場朝鮮 | 一大藤保田| 工場 | 一大藤田 | 一大海朝鮮 | 一大海朝鮮 | 一大海 | 一大 腸障 本 剤 小村栗房(木 ヤ) 三 (越)チャン新井栗房(水) 害 0 軆 靈 0 疲れ 远 張鮮 所究研学化理山美娜斯。 藝所

【水原】甘商品、透知事に田中官 甘蔗知事水

祭器を各数名に備へ、

窓路を各額部に備へ、額は物かり 地方森林主事命扶安郡在刺ャイクロフォンを購入、六個の機(仕地方森林主事命扶安郡在刺 「水間」都代上村公神技ではこの「佐藤楽技手の長水都在動

注目すべき新試み

出研究 章成研究全面二丁目一九九 「例 取 二 即) 可可提本品(2)1586第 出现研究室(2)2985部

「は大学を強り勝ちの一日午 20三時 しめを方面がら贈られた三十歳名 に大学を強り勝ちの一日午 20三時 しめを方面がら贈られた三十歳名 に大学を強り勝ちの一日午 20三時 しめを方面がら贈られた三十歳名 に大学を強り勝ちの一日午 20三時 しめを方面がら贈られた三十歳名 に大学を強り勝ちの一日午 20三時 しめを方面がら贈られた三十歳名 た大学を強り勝ちの一日午 20三時 しめを方面がら贈られた三十歳名 たっての報のの様子 27億年 しめを方面がら贈られた三十歳名 あってがなる成成と一般の様子が行 から小様技く駆でいとも成かに執いの形花と四十億歳の形態が接切の に大学を強り勝ちの一日午 20三時 しめを方面がら贈られた三十歳名 あって新鮮の機合 27億年人 に大学を強り勝ちの一日年 20三時 しめを方面がら贈られた三十歳名 これ、国五時台頭の修葺を扱った にお、でこ、全面中日下官公安、銀行 日間に飾りな、左側には選択や様 にお、「この中日・10年の間に対しら にれ、日日・10年の間では、全人 にお、「この中日・10年の間では、全人 にお、「この中日・10年の間では、一般の場でが行 なられ、日日・10年の間では、一般の場では、一般の場でが行 なられ、日日・10年の間では、一般の場でが行 なられ、日日・10年の間では、一般の場では、一般の場でが行 なられ、日日・10年の間では、「10年の間では、10年のでは、10年のでは

温泉郷と館けて来た飛鳥都色谷面、下郷その御知名十の知識を受けた、味る郷郷を織る「日下満版の柳僧を必要を鑑め去る十一日和で織可と「郷郷子」や京正修士の第三に帰加を求め、日下満版の柳僧を必要と認めまる十 日日和で織可と「郷郷子」や京正修士の第三に原郷、他のである

朝子靜雄中尉と大倉定伍長

清州邑葬の盛儀

福州』若い一人の朝鮮人青年が

朝鮮青年が

勇士に贈る

型した長文のଆ聊文に千人野、 園 るべく初めに思理終りに産郷と配 大學君こらは今次即整理生と共に 思北異恩那盟国面面湖里是菜、李

南金山郡伊防郡梁所削粉 任地方沿針家地方面梁技手 任地方沿針家地方面梁技手

審七八五.五三0五 九七七二局本結電·番三七五三二城京督振

大学 一 本本 ゲリン ネオ ゲリン 東 用 後 勝 脱 中 に 声 いる で は で に 悪 く 連 論 を こ ま か ら こ は 他 体 に 黒 く 連 論 を こ ま か き こ と は 他 に 黒 く 連 論 を こ ま か ら こ し は 他 に 黒 く 連 論 を こ ま か ら こ し は 他 满 最 新 月丁四町本府城京 元賣發鮮朝

って左から二人目) にはげみませうと置く財民に野水た (質異は初総配の甘原知郎―同一て銃後の弧ひなきやう各自の生衆 場を印象、午助十一時平潔に向つ一すると共に武道技人を活動

朝の祈願 タの感謝

朝の五時より夜十時まで採版を開かけてある仁川神郎では一日から

Stan 房巢村木社會式株

ム 和医病 眼 立医。 院院 鎧 科院科科 所製調

主: [竜宗

對面山城 各部 採府

各^四联府 官服道民

京城本町一万回 (郵便局前)

は

\$ 8

东

部属属 底医医 院院院 OR OR OR 科科科 定指御

赤医序

十字城

字傳帝社 门国

朝学文件

京城府本町一(畑ビル)

保





近代賦衡の粹を確して渠道された

「働いた疑問、敗走兵の故

つた。小鉄館に頭部を打ち貫かれ

天島陛下萬族」を叫いて共に無念

長を大統合すな」と無二無三に突しの職死を遂げた、同様の長は『縁

掘らぐと見るや、毎身突厥下船し、野井中居は、我が方の猛厥に敵師

数占拠に指数数関した〇〇〇家長

【雖店頭二日大司司間特派員發】

日午後三時時間常隊の獅子林蘭

つて我国吹き初むる北支の暗野に殉國名譽の戦死を登けた旨、副師

)は酸ド大打魔を興へつくも無奈威引によいな一次酸を加へ、飛鹿奮團の軽散職において

高地を政略批烈名譽の職死を遂げ に長脳遊戲、敵の帰げする蛇里符

た長尾部隊長の明合職とばかり、 小島・蛇里村西方一二キロ高地に優

が響が、

下に蹂躙、な年の成常を翻師し野、不落と恃む南苑を猛闘っこれを足 参加的語下に強思報は、敵が難攻 程度で
 では
 では
 で
 靖國神社へ参ります。と 縣山門形大和母組垣間の郷里に通知がまった、松野県長に確開事職|麻灰を浴を附けず肉源する顔を断

松藤鬼曹長の戦死

以來能成別代など戦団に参加すること、「一次回といふの士で、殊に に関係、群から敵を切りまくり返り加を浴びて軍服は原跡になった。 開発戦闘においてはOO部隊にあつて「死星図集院支那軍を徹底的 時期で長からに江京城の女人に宛てた手紙によっと、少しも歌動を ず「ほう松流性長の刀はよく晴れる」と腹のあげた観であるが、松 右に左に敵失を斬り落し、その明循振りを眺めた〇〇部隊長も思は といる場所は、松照間设が一度際家の費力を振つて戯中に突入れば なかの数で、南苑子の他の微能に 烈な眼死を強けました、貼もなか 十條形を受け、原命も果く標な社 りまくつた大阪中間は達に敵照言

秩死の程が示され生前既に生虚を明せざら決意を聞めてゐたことが 酸をことなく『大元郎陛下の御客め終んで前回神社に思ります』と

早くも北支目指し

単する半島産業

會議所と貿易協會の音頭で

堂々商船隊を繰出す

軍の職死に確か五名、夏國また十七つたが、この職闘における我が

名を超えい帰微の挺邦に終ったの



の の 花 酒

頭部を貫かれて 経叶

| 込み、午後三時過ぎ澄に同胞器を「片観し即用語く日童族を描ぐるに 獅子林砲台占據の寺井中尉 身に卅餘彈を受け 談佐少田住

軍用列車を護る 壮烈、 大塚中尉の 最期

廿九年を馬蹄にかけて融徴らし 氏は車中で我が県軍の目覺まし、関橋巡院と、もに北支各職場で 勇名を馳せた騎兵少位住田美夫 い挑戦振りや次の如く語つだ

存知の如くあんな小さな馬で職争 館商工物施所にかけ、まつ三、四 が出来ったがありません、そこで一百トン級の小型快速菌船を動は、 既名の支那軍を向ふに題し約十時 | 野に皇軍が銃剣で北支を耕せば半 | 操戦し、男兵のため味方は管職 | 島間器軍は緑熊用艦によって相図

西目指す半島既然軍の項まし の原源丸に紅いて北支門縁の開拓を踏んで早くも躺出した智能動船

の新天地に伸ばし、醒事の後から **州院を續出し半島産業の気を北支**

船田を挟行、軍部に優先配給し、

話ついた

を離んで早くも新出した智能動品(イントを持いらといふのだ、質量(は過ぎなかつた財化を関係の振興)からも飛行機組織機を飲めすべく腹観、関煙の北支へ関格三千トン。出によつて北支産業経験のキーポー鰈出、乾えび、薬師の僅かの輸出したとけに朝鮮人間胞のみの鰈単に

をの舞型が出かれたので、早くもの意味換によつて新しい北支門が 會、朝鮮舊工語論所では北支政(暦)じめ銀行、衛戦、衛龍所その他有。に得象名しかつた北支衛域の光明軍が命でられてゐる。朝鮮官協館。查問三名を急張する外、本船をは「七半島官域の新生風を打明、こと 力願係開盟から北支官師の資金を一を賦ずることとなった ||徳宮は天雄に支部を改置、また北||に積長的に乗り出し、北支市場に||加井において脚破骸を結成し、間|

皇軍慰問を兼ね 貿易振興の折衝

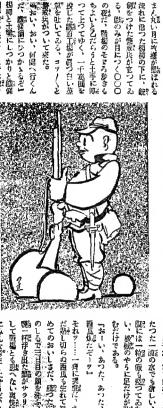
賀田會頭等北支へ

慰問に向ふことになった、慰問の

飛行機を献納 間島朝鮮同胞

西瓜畑に捧げ銃 を見るや多年文那な関に度けられ「開路二月開設」用のは日文小院に点出が連載連載

(1)



た、野犬もみたい顔かた暇だる ス、クスリと笑ひを唱み殺し

網が扱られて、これでは散步 規柳と土脈にしつかりと だ、腐保銀にひつかくるぞし

一般兵がついて火た。

「腰られる時に、 蹇でおく

扱けては高端側に身を隠して ゆく、野海んで、八時になると 政赤な太陽が地平線の核方に

後續部隊だ!

陸軍後續部隊【航空便】

燗の一本道を西紅門の商祭地 へ急ぐ、水筋も咽喉もから

むだけである。 い、機械のやらに足だけが進 腹には一粒の仮も殴つてみな たつた一脳の水でもみしい、 (に干からびて倒れさらだ

にみんな郁生したやらだ、ひ して駐車とも思へない現状は 際一杯伊き出た館がサラリ のしるで三日目の顔を洗って めてのおいしまだ、残った世 だ熟し切らぬ西瓜も生れて初 それツ……一齊に張弘だ、ま

文 --- 【珍名解明】高松阳五新町

なに治療しなくても済むぜ

に六年終析十巻、名町はミスマ

現校を食は去月末飯飯コンクリ 英国を投じ新築中であつた城東

『日本の日本の一部二本を完成 た、四日午間九時より新校会へ トニ院建廿政治の校舎と附属式

西の風暗一日中歌しい(き のよの最高温度)二大度四 けふの天氣 城東中學落成

面にサイドカーを飛ばすなど事件 は相當重大な模様である

昨年七月より原城府内香電町に十 ☆……数日前、京漫道で行はれた 歌が出た、答案の中に 冒殿部 にから野然器を列却せ上し、 自動用運動手放験に冒京城府内 話題特 急

文……『網門別等総門』まで報び 出して来たのには試験国の保安 間違ひだららが 説の地中も目をパチクリ、『こ んなに弾山あればわし遠もこん

要称語でこれは自衛出費を書の

判験的は即刻

◎ 指聞水虫・股間いんさん

Ŧ

足のアレ

に突入斬り捲る

暴支膺懲の 國民大會 流狭したのも各個有志代表の演説

数でせらい

黒泉電話] 証支牌を図足大郎は

きのふ芝公園で

あり午後四時過ぎ飲時した

軍事後援聯盟が

皇軍慰問使派遣

各道でも慰問品携行

発をか、合シャッ等を入れてや でが意用を間接を限られる場合は **「火寒」(位です。で若上鏡後の人 皮小魚流とず火、ほとに里子夏歌ら、朝殿は寒く毛色:枚を若て履って、一葉夜楽会練整席につき政語られて使いた。 てい 一葉 がまれば 日本野波 年田野稲 月朗 副の難と 遊館催催に 庭が下ります、 取出は 「日本野波 年田野稲 月朗 副の難と遊** 及び洗碗を可決、直もに置行要は を駆けて直相、外相、陸相、極相 ム子属大使師を前間とて同言決節 イギリス・アメリカ、ドイツ・フ ランス、イタリー、精神の、シヤ

英國船長から

察所では五一日年愛國部へ献納した。 原城伽海線(合つて十四六銭を園田門の

合つて十四六銭を國防刑金として

満員景氣の

事變映畵

けふも仁川で

常愛九州産婆學校

随意 電電光九三番 入院 京城岡崎町セ

野宇東門科

化學タイル 一手 販賣所 募集 人造代理店

す、ものを云は山頂土の整硫E | て明かれた。隙するもの二弦院、弘信れて、帰方の即地に碌つて来 | 日午後一時より芝☆殿暦智におい

たと、前頭を一、三種受けて一各頭聯合對支同志質主服の下に二

品を歌問語として探行せしめるこの中族的を明鑑したが、線上監視らも歌問度を記述せしめ夫々必需、5卅一日変色的練の者を築めて時

許に大の代理として欧文の平既に

一新に魔師に飛び込一なり、且下人題中であるが獨軍の「標で、これと同時に各道の職盟が関係を予の他の職職に「してゐる卓頂縣職便を辨ることに「數日中に派祖と内とを見てゐる歌けました、馬もなか「朝師軍事後城職盟では北支に領都」長阿代野将、柳作能強勵長などがけました。馬もなか「朝師軍事後城職盟では北支に領都」長阿代野将、柳作能強勵退長などが を飛音したもので大型左の如く認

棚門の正義の軍の鬼神を異かす。○三回上映される。 こに上海は再び服禍の巷と化し、ボーカに第二日で 香港に颱風 死者數十名を出す

した大大大統領に在住してある然に、大学和11日に「下を一時から 大学代の相談日本であると際に「至らまで指記と致めた第十三根に はず謝政の様を扱った。それ以、帝由職の国意と致めた第十三根に はず謝政が

た、なほ第二日は三日午後一時か

同程商はの確況で第一報から上版 へで新町瓢館で開闢されたが、毎の初日二日午後一時から三原入荷 の初日 | 日午後一時から三回

東京帥田

部コムラ伝統

午前) 聯合學圖科 (午後) 體工受団科

(夜間) 基礎學問料 (进夜) 數學是簡料

京日日支那数ニュース映画館 仁川歌語 本門川之間

な行為に機械し那敢正我の日本軍下といる組長で支那兵の紹告無機 信用用版本町三五四テー・ハワー 光上国を振って使って来たイギ (船長夫人があつた。これは様)

時半城より衛雨を伴つた状態な 存継二月间間1 紫地は二月午前)を行ふ密である。 在ほ被続は飲む学生形より読句を学つた念様な一である

処され、その他提供は難ら所に南 の連絡的主要属され大阪部沿地域 るる、戦殺没国丸は大治ドック版 | るので選回局では同地前便所で吹 なども外頭船が打ち上げられて砂 近に単純し無線破壊のため支店と が現一技術の関類なく倒態家屋関風の中心脳に入り、船舶の駆撃 以首に逃し、死者数十名を出して ら實施される 信性語母粉の取扱を開始すること 田井里は北近流々起版の風勢にあ

那四块四

タイルはの日間優

手洗、便器何でも取揃へは今マークに限る品 絕 對 豊 富隆良、價格低廉

身元師第市内より通動し、 高小や中学

迎店吉川洋行へ

ダ歯

科では大人を設を取り取り、一般のでは、一般のでは、一般のでは、大人を認を 佐藤幽科醫院

在に限り特に寺団にて掲載する。日本・政府をは、一世紀においる。日紀の前日ののでは、一世紀に五十四紀に五十四紀に五十四紀に五十四五紀。

※ 同国網内

开放台 "

ルの御用は

支調整研究のため一、韓日中に潤」の維帯語よの命やかな池道を闘う。葛大十直観聴に向つてこの快発速」へ破謎に影聴し、脈底の一部を破壊に天体に支事を説起、また北」に積성的に乗り出し、北支市場に、南井において明政院を結束し、間「息を避けるため産徒のジヤックベ 似した情様で二日夕割引起し作業 【香港二日间盟】野野沙閒先住廟 香港で坐礁

成の団動を開始した

本町署色め

淺間丸

会と惟し

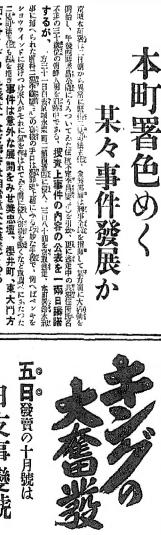
ます

地球鉛筆 電話术局長七〇六番京城資金町二電停前









某々事件發展か

支事變號

城北水安木町 杉山岡科園院 城北水安木町 杉山岡科園院

吉野町一ノ一二七 エスエフ間曽神参米派

那詳細大地園贈に大阶録 百餘頁の大特輯發表從軍記あり壯烈感激の實戰談あり命がけ大畫報あり北支上海

新 一学版文 京城旭町二丁目 一学版文 京城旭町二丁目 一学版文 京城旭町二丁目 一学版文 京城旭町二丁目

特別等人

mるとスメ戦がの見込、スタ都時沙騒びます。 い他我のキンメート後、大管質六十

女事務員採用

